

## 平成29年度第3回図書館協議会会議録

日時 平成30年3月12日（月）午後2時00分～午後3時30分  
場所 いわき総合図書館 4階 会議室

### 出席者

委員 平原浩子 草野チエ子 柳田明美 坂本節子 川口美岐男 有賀史人  
藤谷美由記 高橋香里

### 図書館職員

いわき総合図書館長 小名浜図書館長 勿来図書館長 常磐図書館長 内郷図書館長  
四倉図書館長 安島副館長 大平副館長 図書企画専門員 総務管理係長  
情報資料係長

### 欠席者

中野恵委員 石原万里委員

(進行 安島副館長)

### ○ 開会

### ○ 輝くいわき、学びあい都市宣言唱和

### ○ あいさつ

#### ① いわき総合図書館長

本日は、平成30年2月末現在の実績並びに平成30年度の運営方針や事業計画等について御協議いただくことになっています。よろしくお願いいたします。

東日本大震災の被害やその後の耐震補強工事のために休館した図書館が多かったのですが、今年度は、6図書館フルで開館できました。

いわき総合図書館の1日当たりの来館者数が、昨年度と比較して約200人増加していますが、貸出人数・貸出冊数や登録者数は減少しているため、その対策が課題となると思います。

山内順様と千葉三樹男様より多額の寄附をいただきました。

主要事業では、健康・医療関係の資料の充実に新年度以降、力を入れて進めていきます。

② 委員長

本日は、報告事項2件及び協議事項3件です。よろしくお願いいたします。

○ 議事

議長 草野委員長

(1) 報告事項

① 平成29年度 図書館利用状況等について・・・・・・・・・・総務管理係長

ア 登録者数実績、イ 貸出冊数実績、ウ 資料保有状況

エ いわき総合図書館の利用状況

② 平成29年度 寄附受納実績について・・・・・・・・・・図書企画専門員

(2) 協議事項・・・・・・・・・・異議なく承認された。

① 平成30年度 運営方針及び主要事業（案）について・・・・・・・・大平副館長

② 平成30年度 事業計画（案）について・・・・・・・・情報資料係長

③ 平成30年度 移動図書館運行計画（案）について・・・・・・・・情報資料係長

質疑応答

委員 : 多額の寄附をいただき、ありがたいの言葉に尽きる。活用することが大事。

委員 : 有効登録者数は、利用登録期間が過ぎて更新しないと自動的に人数が減少するのか。

図書館 : 更新しなければ減少しますが、後で更新すれば数字が復活します。

委員 : 本を借りなくとも館内で調べものをする利用者も多いのでは。

図書館 : 確かに、利用登録をしていなくとも館内閲覧で利用されている方もいますので、有効登録者数のみをもって利用状況の把握とするのはやや片手落ちの部分があります。来館者数や貸出冊数などほかの指標と合わせて利用状況を把握していきたいと考えています。

委員 : 人口の移動時期には、有効登録者数は変動すると思うが。

図書館 : 4月には、学校単位での団体登録が更新時期を迎えることと、また、引越しも多いので、4月初めに大きく減少し、その後増加する傾向にあります。

委員 : 「らいぶらり寄席」は、すぐに申し込みがいっぱいになったそうだが、もっと大きな会場での開催は検討しないのか。

図書館 : 落語家の意見では、4Fの会議室がちょうどよい広さだとのことでした。

委員 : 「テーマ別調べ学習支援パック」の貸出では、学校が大変助かっている。

一方、学校図書館の蔵書としても調べ学習図書を購入する傾向があるので、意外に物語が少ない印象。物語についても支援してほしい。

図書館 : 物語の所蔵は多いので、一週間前までにFAXでご依頼いただければ、図書館で見繕って貸出しています。また、「この本よんだ？」で紹介している物語の本も活用いただけると思います。

委員 : 健康・医療情報支援サービスの充実に関連して、小学校では、児童だけでなく30代半ばの親のスマホ依存症が大きな問題になっている。学校でもメディア講習会を開催しているが、親の危機意識が低いので、そういった分野も網羅していただきたい。

図書館 : 精神疾患の中に含まれると思いますが、スマホ依存症関連の本も所蔵しています。発達障害なども含めて、テーマを設けて手引を作るなど徐々に進めていきたいと思っています。

委員 : 認知症などの問題も興味深い。

委員 : おはなし会は、何人くらい利用しているのか。

図書館 : 平均すると20人前後集まっています。

委員 : 美術館の坂本勇さんの版画展でよみきかせを実施していた。図書館と美術館のコラボだと思う。外部と連携した取り組みを充実させてほしい。

図書館 : 美術館とは、「ぐりとぐら展」でのコラボや来年度の「エリック・カール展」と合わせて絵本の展示やDVDの展示を実施している。

委員 : そのような取り組みを一步先に進めていければよい。

図書館 : アリオスなどともコラボしていきたいと思っています。

図書館 : 文化施設の代表者会議でも、「図書館が連携の中心にいる。」と言われていて、「これからさらに進めていこう。」と話し合っています。

委員 : おはなし会の回数が減ったのは、支援ボランティアの人数減少が原因か。

図書館 : そうではありません。ボランティアは、よみきかせボランティア育成講座で養成していますが、みなさんが、図書館だけでなく学校等いろいろな場所で読み聞かせを行っているので、曜日が重なったりして、なかなか図書館だけに注力できないことが理由になっています。

委員 : よみきかせボランティアの活動は、学校としては、大変ありがたい。

委員 : 読み聞かせの際に、図書館で、題材としての紙芝居や児童書の紹介をしていただき、それをきっかけに子どもたちが市立図書館に足を運んだことがある。紙芝居の展示はありがたい。

大型紙芝居が少ないので、大規模校などでの活動のために、充実してほしい。

委員 : 子ども映画会の会場を施設の中だけでなく外でできないか。

図書館 : いわき総合図書館の子ども映画会は、いわき産業創造館の企画展示ホール

で実施しています。1日で300人ぐらい動員しており、これ以上広い会場での開催は難しいですが、地区図書館では、公民館会議室等での開催なので、常磐公民館隣の関船体育館での開催なども含め、今後検討していきたいと考えています。

- 委員 : 地域資料のデジタル化は、新聞と三猿文庫が対象か。
- 図書館 : いわき民報と三猿文庫が中心です。いわき民報は、故山内順様からの寄附も活用して、平成18年3月までデジタル化が完了しています。
- 委員 : 宮城県では、県立図書館でデジタル化した資料を市立図書館で閲覧できるようになっている。そのような連携の取組みは。
- 図書館 : いわき市立図書館のホームページの郷土資料のページにデジタル化した資料をアップしています。いわき民報は、昭和53年まで公開しています。県立図書館も同様のサービスを進めて欲しいと考えています。また、広報いわきのデジタル化も進めています。
- 委員 : 図書館報「かもまる通信」は、割り付けも見やすいし、とてもよい。
- 委員 : 図書館報の名称も「YABINA」から「かもまる通信」に変わってかわいい名前になった。
- 図書館 : 親しみやすい名前を図書館のスタッフで考えて決めました。
- 委員 : いわき号のステーション「好間三小」が閉校になったとのことだが、このステーションの利用者は、学校関係者だけだったのか。
- 図書館 : 主に学校の児童でした。
- 委員 : 移動図書館車が巡回している学校はどのように選定しているのか。
- 図書館 : 図書館から遠方にある学校や巡回を希望している学校を選定しています。学校以外にも幼稚園や施設等からの要望を受け付けて、全体の中で調整していますので、お断りしているところもあります。
- 委員 : 移動図書館には、点字図書は所蔵しているのか。
- 図書館 : 移動図書館車には、所蔵しておりません。
- 委員 : 点字図書に触ったことがあり、美術館で購入した。
- 図書館 : 「しろくまちゃんのホットケーキ」など触る絵本を図書館でも所蔵しています。今後の選書の中に入れていきたいと思います。
- 委員 : 高校生が、勉強のために、いわき総合図書館の学習室を利用しているが。新聞報道によると高校・大学生の読書率が0に近い。高校・大学生への貸出はどうか。
- 委員 : 子どもたちは、本をめくると心が落ち着く、学校図書館をきっかけに市立図書館で調べものをする等の姿が目についた。学校に読み聞かせに行くと、「今、読み聞かせをした本はどこで借りられるの？」等の質問も多く、子どもが読書離れしているとは思っていなかった。

委員 : 昔は、電車やバスで、学生は本を読んでいた。私は、バスを利用しているが、バスの中で本を読んでいる高校生がいない。

図書館 : 今の子どもは、スマホやタブレットで活字は読んでいます。本は電子媒体よりも一覧性は格段に高いが、活字を読むことと本を手を取ることを分けて考える必要があると思います。

委員 : 高校で集計した統計では、月平均の高校生の読書冊数が、男子の 49%、女子の 47%が 0 冊。部活動に忙しいことも理由だというのが、愕然とした。高校生に、学校図書館への要望をアンケートしても、利用していないため、要望したいことがわからない状況。

委員 : 大人からすれば、これだけは読んでいないと恥ずかしいと言える最低の本がある。受験勉強はダイジェスト的。学校・家庭・社会全体が読書の有用性を若者に発信する必要があり、図書館には、その基地になってほしい。社会全体の大きな問題。

図書館 : 男女別年代別の有効登録者数をみると、10 代の割合は、全体の 15.7%ありますが、女子は 5,593 人に対し、男子は 3,874 人で、男子の登録率が非常に低くなっています。0~9 歳では男女差がないので、10 代の男子の登録率の低さが、若者の読書離れの一端を表していると思います。

○ その他  
特になし

○ 閉会